



10月に入りやっと秋らしくなってきましたでしょうか。読書の秋、10/27～11/9は読書週間です。今年の標語は「わたしのペースでしおりは進む」しおりに乗り本のページを進む姿がポスターになっています。以下に高校生書評合戦東京都大会の校内予選の報告をします。みなさんの読書活動の成果が、さらに多くの白鷗生の読書のきっかけになれば嬉しいです。

私のペースで  
しおりは進む  
2023・第77回 読書週間  
10/27～11/9



### 校内ビブリオバトル開催！

9月25日に校内ビブリオバトルが行われました。5名の発表者により、個性的で熱いプレゼンが繰り広げられ、どの本も読んでみたくまりました。

5年Fさんがプレゼンした『透明な夜の香り』がチャンプ本に選ばれました！東京大会予選に出場します。この本からは香りがする…!?ぜひ、単行本で読んでほしい、という熱い思いが語られました。（所蔵しています！）

紹介された本は右のとおりです。所蔵している本は図書館に展示しています。ぜひ読んでみてください。

### ビブリオバトル発表本！

『我が焔炎にひれ伏せ世界 ep.1』 すめらぎひよこ/著

KADOKAWA

『図書館の魔女』 高田大介/著 講談社

『竜の姫ブリュンヒルド』 東崎惟子/著 KADOKAWA

『あのひとは蜘蛛を潰せない』 彩瀬まる/著 新潮社



### 今月の新着図書Pickup！



#### 『ちくま小説入門 高校生のための近現代文学ベーシック』

改訂版 紅野謙介 清水良典/編 筑摩書房

第一部の「小説への招待」で小説の仕組み・表現・豊かさ・可能性・読解の解説があり、第二部に近現代の代表的な作者の23作品（漫画作品1・翻訳されたもの4）が載っています。小説の文末には読解の設問があり、その解答編に「読書案内」として掲載された作者の別の作品や関連して読みたい作品が紹介されています。掲載・紹介されている作品のいくつかは今月購入する予定です。また、「ちくま評論入門 高校生のための現代思想ベーシック」を先月所蔵しました。この本で紹介された作品のいくつかは今回の新着図書として購入しています。

#### 『まともでない言葉を生きる』

荒井裕樹/著 柏書房

文学と障害者文化が専門の研究者である著者が言葉の壊されつつあること…負の力に満ちた言葉、人の心を削る言葉、「生きる」ことを楽にも楽しくもさせてくれない言葉が増えていることに抗いたいと書かれた本です。ぼくを助けてくれた言葉たちへの恩返しのためにも、言葉を諦めないという姿勢に私も考え続けなければと思いました。